

経営理念

「地域共存」

豊かな地域社会の実現に寄与し、
地域とともに発展します。

「顧客尊重」

変化を先取りした果敢な経営を展開し、
組織を挙げて最良のサービスを提供します。

ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当行は、2023年6月、仕組債と呼ばれる金融商品のちばぎん証券株式会社への紹介型仲介業務において、投資者保護上の問題が認められる状況にあったとして、関東財務局より、業務改善命令を受けました。皆さまにおかれましては、多大なご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを、衷心よりお詫び申し上げます。

皆さまからの信頼回復に向け、当行では業務改善計画に基づき、お客さま本位の業務運営を今一度徹底するとともに、お客さまの最善の利益の実現に向けた業務運営態勢の構築、コーポレートガバナンスおよびコンプライアンスの強化などを通じ、このような事態が再び生じることのないよう全力で取り組んでまいります。

国内外の経済環境につきましては、インバウンドの復活や賃上げの動きなど、ポストコロナ社会における前向きな流れがある一方、物価高騰や人手不足は深刻な課題となっております。加えて、気候変動による自然災害や、世界各地における紛争の激化などにより、経済の先行きは視界不良の状況が続いております。

このようななか、当行では、2023年3月に策定した長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan) ～多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く」のもと、その具現化に向けた第一ステージである中期経営計画「MCP 1/3(ワンサード)」にて、お客さま向けのデジタルサービスや行内業務のデジタル化に関する取組みを一層加速させていくとともに、人的資本経営の実践として、提案力・課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成やダイバーシティ&インクルージョンの推進、従業員とのエンゲージメント向上などに注力しております。

また、地元企業の皆さまに寄り添い、さまざまな課題にお応えする本業支援を徹底していくとともに、サステナビリティ経営や地域活性化といった課題につきましても、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークを活用し、先導的な取組みを行ってまいります。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、地域になくてはならない銀行としての存在意義を発揮し、全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的発展を目指して、役職員一同研鑽を重ねてまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年1月

頭取 長堀和正

